

令和2年度第1回 青森市障がい者自立支援協議会 議事要旨

日時 令和2年7月27日（月）14:00～16:00

場所 青森市福祉増進センター 3階 大会議室

出席者 (委員) 石田会長、津川委員、西村委員、今委員、狭間委員、工藤委員、村岡委員、中村委員、田中委員、佐藤委員、鹿内委員、野呂委員、藤川委員、神委員、木村委員、谷川委員、小笠原委員、長谷川委員、岡田委員、齋藤委員  
(計 20 名)

(事務局) 福祉部 館山部長、福井次長

障がい者支援課 加福参事、山口主幹、高木主幹、赤平主幹、笹原主査、高坂主査、竹内主事、三上主事、長澤主事

1 開会

2 報告事項

(1) 今年度の協議会の進め方について

<事務局が「資料 日程案」に基づき説明>

<事務局が「資料 令和2年度協議会の進め方」に基づき説明>

(2) 青森市障害者総合プランの一部改訂及び障がい福祉計画第6期計画の策定について

<事務局が「資料 青森市障がい者総合プランの一部改訂について」に基づき説明>

<事務局が「資料 青森市障がい福祉計画第6期計画概要」に基づき説明>

(3) 青森市手話言語の普及及び多様な意思疎通の促進に関する条例の制定について

<事務局が「資料 手話言語・意思疎通条例の概要」に基づき説明>

(4) 各部会からの報告事項について

相談支援部会

<委員が「資料 相談支援部会協議等経過報告書」に基づき説明>

<委員が「資料 今後の取組について(案)」に基づき説明>

<委託相談支援事業所が「資料 青森市障害者相談支援事業活動報告」に基づき説明>

3 各部会での話し合い及び各部会からの報告

(1) 各部会からの報告

<各部会での協議後、協議内容を部会リーダー等から報告>

(委員)「精神障がい者の地域生活支援部会」では、今年度も昨年度に引き続き金銭管理支援について協議していきたい。昨年度に金銭管理支援についての研修会をやりたいという話が出ていたが、今年度は人を集めての開催は難しいということで、まずは、金銭管理支援についての課題を挙げて整理していきたい。

(委員)「みんなの未来部会」では、各委員から新型コロナウイルス感染拡大の影響で様々な制限がありイベントができなかったり、人と会うことができなく、相談ができないなど、精神的に落ち込むような時があったなどの話があった。また、自分たちが災害にあったときにどうしたらいいのかと不安が出てきている。今年度も昨年度から引き続き災害についての協議を継続していく。今年度は機会があれば実際に避難所を見学して課題を検討していく。

(委員)「就労支援部会」では、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、特別支援学校や一般企業での実習や見学の受け入れができないため、今年度の就職率が減少している状況について協議した。また、昨年から引き続き就労支援ガイドブックの作成を行っていて、今年度で完成させて配布していきたい。

## (2) 部会に参加した委員の感想・意見

(委員) 今回は金銭管理支援について協議したが、金銭管理の問題については相談支援事業所などでも対応に苦慮している。今年度は金銭管理支援についての何かしらの支援の形を作っていきたい。

(委員) 今回の協議で新型コロナウイルス感染拡大の影響であれもできないこれもできないという話が出て、暗い感じになってしまった。そんな中でもみんなで協力して頑張っていこうと思う。もし、10年前に新型コロナウイルスが感染拡大していたら、離れていても画面で顔を見ながら話すことは難しかったと思う。このような状況の中でも唯一よかったと思うことは、このような状況でもみんなと顔を見ながら話せることがよかったと思う。

(委員) 新型コロナウイルス感染拡大の状況の中でも、ピンチをチャンスに変えるため、できることを検討していきたい。今回初めて自立支援協議会の委員になり協議に参加した。このように専門的な支援について協議しているとは知らなかった。就労移行支援などについて、この自立支援協議を活用して専門的に支援していけるのではないかと感じた。

## 4 閉会

—以上—